

サンタさんはクリスマスのプレゼントを
どうやって手に入れているの？



編集：シタニタカシ

●はじめに

[2005年11月25日のメールマガジン](#)の編集後記に、次のようなことを書きました。

サンタクロースが実在すると信じるかどうか。

ある程度大きくなったら、子供も信じなくなるようですが、ある日突然信じなくなるというよりは、辻褄が合わないことにだんだん気付いてきて、それで信じられなくなるのではないかと思うのです。

で、今日の一言に書いた質問ですが、我が息子は困ったことに「サンタは泥棒だと思えない」という仮説を立ててしまいました。

私も父親として子供の夢をぶっ壊すわけにもいかず、さりとしてファンタジーに逃げ込むような説明も通じそうにないので、頭を抱えています。

あなたならどう答えますか？

「お父さん、サンタってプレゼントをどうやって手に入れてるの？」

こう書いたところ、数名の方から「私ならこう答える」というメールを頂戴しました。そのご意見をメルマガで紹介したところ、さらに読者の方から「私ならこう答える」「我が家ではこう答えた」というメールをいただきました。

そこで調子に乗って、「サンタのプレゼント」専用の投稿フォームを作って、また、ミクシィの日記でも「サンタのプレゼント」についてのご意見を募集したところ、合計で 34 名の方からご意見が届いたのです。(メルマガからの転載 2 件を含む)

これはもう、自分ひとりでありがたく読ませてもらうだけではなく、もっと多くの人に読んでいただくべきではないか。

そう思ったので、今回この e-book を作って、誰でも手に入れてお読みいただけるようにいたしました。

この e-book は、ご自由に転送・配布していただいて結構です。というより、ぜひドンドン配布してください。

この e-book が、ささやかなクリスマスプレゼントになれば幸いです。

シンタニタカシ

●第1弾：T.K.さん

うちでは、サンタはおもちゃ工場を持っていて
クリスマスに向けて
毎年、クリスマス以外の日はここで
みんなのためにせっせとおもちゃを作っている！

と、話していました。

●第2弾：メルマガ「でじたる八兵衛のテレビ うら漫遊」のでじたる八兵衛さん

「実は、お父さんたちが、

プレゼントを買うお金を寄付しているんだよ。」

ってというのはどうでしょうか？

「世界中の人は、みんな、サンタクロースが大好きだから、

毎年、多くの寄付金が集まるんだ。

そのお金で、サンタさんはプレゼントを買ってるんだよ」

さらに、

「お父さんはサンタさんの知り合いなんだ。

だから、君のほしいものを聞いて、

サンタさんに伝えることもしてるのさ」

とでもいえば、

なにかとつじつまもあい、

また、息子さんの夢を壊すことにもならないのでは？

●第3弾：T.K.さん（その2）

ちなみに我が家は、昨年からサンタプレゼント廃止となりました。

息子には次のように説明し理解を得ました。

世界には、たくさんの子供たちがいて

毎日のゴハンですらきちんと食べられない子供たちもいる。

あなたには、パパとママがいて、毎日のゴハンもちゃんと食べられる。

クリスマスプレゼントも、ずっと

サンタさん以外にパパとママからももらえている。

でも、サンタさんも忙しいたくさんの子供たちに対応するのに大変だ。

だからもう、今年からはサンタさんにプレゼントをお願いするのは止めよう。

もう、大きくなったから今までありがとうと伝えよう。。。

するっと理解してくれました。

というか、どこまで、いつまで、本当に信じていたのか。サンタのこと。

ずっとどこかで信じながら、でもちょっと疑いながら

クリスマスを楽しみにしていたのだと思っています。

●第4弾：ブログ「鶏口の結構な傾向」のがんばる中村鶏口さん

サンタさんも、別のサンタさんからプレゼント貰っているんだ。

その別のサンタさんも、また別のサンタさんからプレゼント貰っているんだ。

そうやって貰ったりあげたりを皆しているんだ。

だから息子よ。お前もいつかは誰かのサンタさんになるだろう。

その時は、しっかりしたサンタさんになるんだぞ。

●第5弾：つるさん

おもちゃを作る工場があって、

クリスマス以外の日には

サンタさんはそこで

おもちゃを作っているんだよ☆

という映画が、昔あったような。

●第6弾：サイト『[♪超簡単料理でごめん遊ばせ!](#)』のモッチーママさん

サンタさんは、とっても元気な子に
こんなプレゼントをあげたいな！と
真剣に考えたら、その思った通りの
プレゼントが魔法のように現れるのよ。

サンタさんだからそれが出来るの！
サンタさんは素晴らしい人なの！
そのプレゼントを持って24日の夜に
あなたのところにきてくれるのよ！

サンタさんがあなたのために選んでくれた
プレゼントよ！スゴイね、良かったね！

●第7弾：メルマガ「みんなが分かる！病院の検査についてアレコレ」の池蛸さん

.....
サンタさんは、他の国のすごいお金持ちで子どもが大好きなおじいさんでした。

昔にクリスマスのサンタのお話を聞いたおじいさんは、

「自分がサンタになろう」

と、自分ひとりでは使いきれないお金を『おもちゃ』として子どもたちにあげることにしました。

しかし、困ったことにみんな欲しいものが違います。困ったおじいさんは、人を雇って皆が欲しい物を調べることにしました。

こうして、みんなの欲しいものが分かった、おじいさんはプレゼントを山のように買って、子どもたちの喜ぶ顔を楽しみにクリスマスを待つのでした。

おしまい
.....

え～と、だから何が言いたいかというと無理に「架空の人物である」としなくていいのではないかということです。

「泥棒」だと疑っているのならそれなりに現実にいる、と仮定してると思いますが現実的な方法でプレゼントを調達してる、と教えてあげたらどうでしょうか？

●第8弾：ブログ「翻訳で生活するための常識」 のルイさん

多分、「大草原の小さな家」だったと思いますが・・・

「クリスマスは自分の大切な人に愛をあげる日。

愛をあげることができる人が「サンタクロース」になるの。

だから誰もがサンタクロースになれるのよ」

というようなくだりがあったように記憶してます♪

●第9弾：メルマガ「『Daily Quotation!!』3分で読める成功英語♪」のまっつんさん

自分もどこかの本で、

「サンタが一年かけて、たくさんのプレゼントを作っている」

ということを見た覚えがあります。

でも、今の赤いサンタはコカコーラの影響だという話を聞いて
がっかりしたことを覚えています。

確か、あれは小学校に上がる前だったような！？

●第 10 弾：メルマガ「毎日4分！マジシャンの頭の中365日」の金本泰敏さん

北極か南極に秘密おもちゃ工場があるって、この前お会いしたジェームス・ボンドさんが言ってましたけど（笑）

●第 11 弾： のんちゃん

先ほどフィンランドから関空に着いたところです。

岡山と京都に行くサンタさんと席が隣同士になったのでお話聞いて来ました。

世界中の国からお金が集まるのでフィンランドにはサンタ銀行がありそこから工場を建てるお金が出るそうです。

サンタさんはフィンランドにいます。大きくなったら旅行で行ってみてね

むかしむかしはサンタさんが木を削っておもちゃを作ってくれたけど。

夢しか見ない大人にならないようにそれぞれの国にあるおもちゃを作る研究をしたそうです。この夏はムシキングのおもちゃをたくさんつくったそうです。

おもちゃ屋さんから仕入れずに作るのは「クリスマス」は特別だからです。愛情を一杯いれないと完成しないからです。

●第 12 弾 : mikah さん

サンタさんはプレゼントを配る時、子供たちや家族、家の様子をこっそりリサーチします。

その情報を欲しい企業に提供し、プレゼント・情報提供料・プレゼントの送料を請求するのです。

●第 13 弾:メルマガ「My Overseas Report 海外旅行をより快適に有意義に！」の Mikio Hirabayashi さん

我家の子供、上はもう 20 歳ですが、幼児の頃、やはり、子供達に

「どうして、サンタさんに、欲しいものが分かるの？」

と、聞かれましたが、こう答えていました。

「パパは、サンタさんの電話番号を知ってるんだ。でも、これは、子供に教えちゃイケナイ決まりなんだ。

だって、小さい子供の、皆が知ったら、電話が一杯かかってきて、サンタさん、困っちゃうだろう？

それと、昨日欲しいと思っていたモノも、今日は違うモノというふうに、子供の気持ちって、時々、変わるだろう？

だから、子供の親が、子供の欲しいモノ、または、これをあげて欲しいな、と思うモノを、まず親が、きちんと子供に聞いて、これでいいね、と決めてから、サンタさんに連絡して、お願いするんだよ。」

こう言ったら、納得してましたよ。

●第 14 弾：政之助さん

サンタクロースはたしかノルウェーの人だったと思います。しかも実際に存在した人です。しかしこの人は日本で言う「鼠小僧」だったのです。お金持ちの家に忍び込み盗んだお金で恵まれない子供達にプレゼントをした実話です。

ですからお金持ちの人達が世界中のサンタクロースに、恵まれない子供達にプレゼントをしてくださいと寄付をしてくれているのです。と説明し、大人になったら世界中の恵まれない子供や人々に、小遣いを節約して寄付をしようね！

でいいんじゃないでしょうか。

●第 15 弾：「アップスイナーブティック」の 京都みやんさん

サンタさんがどうやってプレゼントを手に入れているかと言
うと、パパやママ、おじいちゃんおばあちゃんが
サンタ貯金をしているからなの。
いい子にしてたら、ちゃんと欲しいものがもらえるでしょ？
どうしてサンタさんに欲しいものがわかるか不思議だったでしょ？
サンタさんがテレパシーを使える訳でも、家での会話を
盗み聞きしているわけでもないのよ。
パパ・ママ・おじいちゃん・おばあちゃんが
サンタさんをお願いしているのよ。

でもね。
ママもまだサンタさんを見たことがないの。
1度でいいから一緒にクリスマスを過ごしてみたいね。
きっと忙しくてそれどころじゃないだろうけどね・・・

●第 16 弾 : 「[匠の革トランク](#)」のガラスさん

サンタさんは、何でも作れちゃうんだよ。

●第 17 弾：「[激安寝具ペガテックス工場直販](#)」 の寺島さん

グリーンランドにいる沢山のサンタさんが住んでる町で

作っているってのはどうですか？

何でも作れるすごい街なんだよーとか。。

※ちなみに、寺島さんに「[サンタクロースサイト（グリーンランド国際サンタクロース協会公認サンタクロース 日本代表）](#)」というサイトを教えていただきました。

●第 18 弾：ブログ「ウェブサイトのススメ」の 島美人さん

私の息子は小学3年になりますが、まだまだサンタを信じています。

(※親としてはもうそろそろ疑って欲しい気持ちもありますが・・・)

その息子いわく「サンタは世界中のおもちゃ屋さんの社長で、とてつもない大金持ちなんだ！」と、どこかの大人に教えてもらったそうです。

(※たぶん、私の父・・・じいさん！)

私は「そうかもね？」って言うしかありませんでした。

●第 19 弾：竹中伸行さん

悪徳業者から接收しているっていうのはどうですか？

●第 20 弾：「ベネチアガラス La zanze」のくりちゃん

本当にまだ小さな頃でしたら、

> 「サンタはどうやってプレゼントを調達しているの？」

う～ん？どうしてるんだらうね？不思議だね。

と一緒に不思議がり、わからないねえ・・・と一緒に回答を探す
だらうと思います。

だから 「泥棒としか思えない・・・」 もありかもしれません（笑）

子供達がもっとおもしろい想像をしてくれるかもしれませんし。

親にだって知らない不思議なことがあってもいいですからね。

ある程度、本気で疑う年齢、あるいは、ばれちゃった時などは、

本当のことを教えてあげるね・・・。と伝え、

サンタクロースは、神様みたいな存在でね、

(本当は) 見えない存在なんだよね。

たとえば 親がいない子にもちゃんと届くように

誰かを通して プレゼントをするのよ・・・。

うーん、つまり、・・・

プレゼントは、人を通して届くので、

それが誰からのプレゼントであっても、それはサンタクロースの

意思でプレゼントをされている。

あなたのことをサンタクロースは知っているから・・・というオチで。

そんな風に説明したと 思いました。

プレゼントとして形がみえにくくても、人からの親切を受ければ

そういう形のプレゼントもあるのだ。とか。

●第 21 弾：メルマガ【本当は教えたくない！！
売れる顧客心理 96 のツボ】のカカトコリさん

「彩ちゃんが頑張って、他の人に親切にしてあげるとね、【親切の神様】が見ていてくれて、サンタさんに彩ちゃんにプレゼントをするようにお願いしてくれるんだよ。

今年も、彩ちゃんはいっぱいいっぱい周りの人に親切にしたから、サンタのプレゼントが楽しみだね」

●第 22 弾：メルマガ「[アパパのゆかいな健康講座](#)」の泉水 章浩さん

「サンタさんが魔法で作るのさ♪」

私が、息子に聞かれた時に答えた言葉です。

息子は「じゃあ、魔法で届ければいいのに、どうして自分で運ぶの？」と聞きました。

私は、こう答えました。

「決まってるじゃあないか！ 大好きな子供たちに、1年に1度だけ会える日だよ。 良い子の寝顔を見るのが楽しみなのさ☆」

●第 23 弾（番外）：メルマガ「[毎朝 1 分。今朝の新聞 国際・海外面ニュースのポイントをわかりやすく解説します](#)」より転載

■世界のトリビア■ - クリスマス編 -

☆サンタはなぜ赤い服を着ているか？

古い絵などを見ると、サンタクロースはブルーのマントや毛皮を着ていたり、その格好はさまざまです。

現在の様な、サンタクロースの姿になったのは、1931年のこと。コカコーラ社が、クリスマス用の広告に、サンタクロースを起用したことに始まります。

制作を依頼されたデザイナーは、早速、コカコーラ社のセールスマンの1人をモデルとして、商標カラーである赤と白を使い、サンタクロースをより親しみのあるキャラクターに書き上げました。（常にコーラを片手に持っていますが）

そのキャラクターが大ヒット。すっかり人々の頭の中へと定着し、以降、長年にわたって愛されています。

[コカコーラ社が描いたサンタクロース](#)

●第 24 弾 : S.S.さん

そうそう、この前オーストラリア人にサンタはどうやってプレゼントを手に入れるのか考えて泥棒って結論に至っちゃった子供がいるんだけど…と話したら、

名称忘れたけれど（ちゃんと名称があったのに驚いた）

「北極のサンタの国にはサンタを助けるフェアリーのようなものがいっぱいいてプレゼントを作るんだ」と言ってました。

「ゲームソフトやアニメの DVD でも？」

ときいたら「わからないけれど、そうなっているのだ」と言ってました。ポーラーエクスプレスの世界ですね。

でも、オーストラリアはクリスマスには夏でしょう？

サンタは、やっぱり北極なの？

…オーストラリアのサンタさん暑いのに、コスチュームは北半球バージョンらしいです…

さっき週刊誌（フリーペーパー）にサンタ検定ってのもあると書いてありましたが試験対策してサンタさんになるってどうなのでしょうね？

●第 25 弾：メルマガ「[情報 3 分クッキング☆女の目線で日経を読み解く](#)」の meg さん

うちの子どもの保育園には毎年サンタさんがやってきますよ。

昨年やってきたサンタさんに子どもが質問をしました。

クリスマスプレゼントはどうやって集めるの、ということでした。

サンタさんは、「世界中の秘密の場所に、プレゼント工場があるんだよ。次のクリスマスが来るまでの間そこで作っている」と言いました。

そこまでがサンタさんの答えです。

でも私はどうして、ポケモンのゲームソフトなど作ったりできるのかと思いましたが、考えてみれば、企業にとってもサンタクロースから子ども達に配られるプレゼントとして自社商品が選ばれるのは、とても名誉なこと。だから、サンタさんの秘密の工場に、そっとプレゼントの作り方を渡すのでしょよね。作りすぎたりしないのでしょか。

少しくらいはそういうこともあるでしょよね。でも次の年もあるので大丈夫。子ども達の夢は永遠ですから。

●第 26 弾：ブログ「[コージーのランチェスター日記](#)」のコージーさん

「もちろん、サンタさんがトイザラスで買ってくるに決まっているじゃないか。」

というわけで、我が家の子供達はサンタにおねだりするおもちゃをトイザラスのカタログで物色しています。

●第 27 弾：「エコーソーイング」の横山さん

我が家には1年生の子どもがいますが、今のところ素直にサンタさんを信じてます。(^^)

サンタさんが、泥棒とは楽しいですね(^^)
想像力が豊かなのですね。もしかしたら絵本の影響かしら？

どど、ろろ、ぼぼだったかしら(すいませんちょっと忘れてしまいました
が、3人の泥棒がサンタさんの家に入っておもちゃを盗もうとする話だっ
たような、、たしか、結局サンタさんと一緒にプレゼントをくばるのかな。。

うちの子は、絵本の「あのね、サンタの国ではね…」にでてくる
おもちゃの木を信じています。おもちゃの木にはおもちゃのみがなるので
す、それを収穫して子ども達に送ります。

ちょっと、大きい子ならポーラエクスプレス(映画)。これもおもちゃをエ
ルフが準備するシーンなんかもあってなかなかいいです。

困ったときは、絵本や映画を使ってみるのも夢があつていいのでは？

私は、「フィンランドのロバニエミに行ったときサンタさんにあつたよ」
と言っています、娘は「おばあちゃんの家にある大きな靴下、そのときサ
ンタさんにもらったんでしょう(^^)」
「私も行きたいな～」と夢見るような目で言ってます。

...前置きが長くなってしまいました、

「お父さん(お母さん)、サンタってプレゼントをどうやって手に入れて
るの？」もし聞かれたら「サンタさんの国では、おもちゃの木におもちゃ
のみがなるのよ」と答えます。

●第 28 弾：ポケモンママさん

小 1 の息子・小 4&中 1 のムスメがおります。

我が家では 11 月末にサンタさんへ欲しいものを書いて手紙を出します。手紙は郵便局に持っていくとあって母が預かります。

サンタには世界中にスポンサーがいて、子供達のためにちゃんと欲しいものをプレゼントしてくれるようになっています。

プレゼントは 25 日の朝にツリーの下に置いた各自の靴下に入っています。24 日、寝る前にお酒とクッキーを用意するとサンタさんは食べてくれて、各自に英語でお手紙もついでにきます。

サンタさんは普段はフィンランドに住む普通のおじいさんですが、プレゼントを配るときは時間の流れが違うので、一日でも世界中の子供達に配ることが出来ます。異次元を通ってくるので、煙突の有無は関係ありません。

中学生(12 歳)になると大人と同じ扱いになるので、もうサンタからのプレゼントはもらえません。

その代わりに、両親からプレゼントをもらいます。

昨年、長女のサンタの手紙にうっかり「see you next year」と書いたので、長女は「来年もきてくれるって書いてあるよ！！」と喜んでました。

さすがにこの 1 年で疑い始め、長女は「お父さんとお母さんが用意してるんでしょ」と言ってきました。

が、下二人もいる手前「中学生になるとそう思い始めるからもらえないんだよ」と説明しました。

インターネットの北米航空宇宙防衛司令部「[サンタ追跡プログラム](#)」を見せているので、かなり信じています。

●第 29 弾：「[智慧輪](#)」の今井智恵子さん

サンタは実は、プレゼント工場の会社を経営している。

クリスマス以外は、働き、おもちゃ等を作って売っている。

そのお金を使って、自分で作れないおもちゃなどのプレゼントを購入、自分の会社で作れる物は、自分の会社で作っているものをプレゼントにして配っている。

●第 30 弾:「[インテリア&和雑貨 京都 夢み屋](#)」
の ca さん

サンタさんにはトントウやエルフという妖精の部下がたくさんいて、彼らはクリスマス日の為にフィンランドの東の「お耳の山」にあるサンタさんの工場で毎日クリスマスプレゼントを作っています。サンタさんは世界中の有名人ですから、世界のいろいろな人も手伝いに来るの！

●第 31 弾 : haya さん

ドラえもののポケットみたいのがあるんだよ…っていうのはどうですか？

●第 32 弾：メルマガ「人、人生、心を変えた言葉」の修明さん

サンタさんは、神様のお使いだから神様にもらってくるんだよ。

●第 33 弾：ブログ「9 歳年下の彼をゲットする方法」のさくらやよいさん

私の娘は 10 歳ですが、クラスメイトに「サンタの正体はお父さんよ！」と言われても、サンタを今も信じています。

プレゼントはサンタが作っていると思っています。(小さい頃に見たアニメで、そんなシーンがあったようです)

何が欲しいかは、お祈りの様に「サンタさん、お願いします。〇〇を下さい」と時々つぶやいてます。(欲しいプレゼントが変わっていくので、コッソリ聞き耳をたててま〜す。笑)

魔法使いのように、不思議な力で煙突がなくても窓から入ってこれると思ひ込んでますよ。

「だって、お父さんのはずないもん」…お母さんかも？とは思わないのが笑えます(^_^;)

注：私はバツイチで、娘は私の彼をお父さんと呼んでますが、彼は近くに住んでませんので…

10 歳になったので、そろそろサンタが来なくなるかも…と最近言い始めました。

「そしたら、お母さんがプレゼントちょうだいね」って (笑)

5歳のクリスマスで、娘が夜中に目覚め、プレゼントに喜んでいたら、「ほら、窓の外を見てごらん、まだサンタさん居るかもよ」と言うと、外を一生懸命に見てた娘が「見えた！」と叫びました。

それで今も信じているのかもしれませんが…本当に何か見えたのかもしれませんが。

大人になるとサンタは居ないと決めてしまいますが、サンタって本当は、居るんじゃないでしょうか

プレゼントは、目に見えない物（お金で買えない物）をくれているんだと思います。

殆どの方が、それに気付いてないだけなのかもしれませんね。

…って、お題から少しズレてしまいましたかねえ（^^;）

●第 34 弾：「[コンプレックス克服！！ ダイエット・シェイプアップ情報館](#)」の天羽 悠さん

サンタさんはクリスマスはもちろん忙しいけど、クリスマス終わってからは、すぐ次の年のクリスマスプレゼントの用意をしなければならぬの。

春や夏や秋は、クリスマスに配るためのプレゼントを作っているのね。

だから、手に入れるとかではないの！（^^）

●第 35 弾（番外）：メルマガ「[汗と涙と埃まみれの教科書](#)」からの転載

2005, 12, 16, 137 ページ目 《サンタさん、ありがとう》

昨日、学校の授業で『サンタさんに手紙を書こう』というのがあった。

次女の江里紗（4年生）は、『鉛筆が欲しい』と書いたらしい。鷹斗はマジレンジャー靴下、コタロウはウルトラマンのガチャガチャ。それぞれ欲しいものを言い合って、保育園の帰りの車内は盛り上がった。

「でもサンタさん、うちに来ないよね？」と、江里紗が聞いた。黙っていた袖香（6年生）も身を乗り出して来た。あたしがどんな答えを言うのか知りたいのだろう。

いつもあたしは「サンタさんが家に来るのは宝くじに当たるのと同じ」と話してる。「みんなの家を全部回りきれないから、ほんのひと握りの当たった人の家にしか行けないんだよ」って。

サンタさんは世界中を回るんだ。フィンランドに住んで、お坊さんみたいな修行をした心の優しい人しかサンタさんの資格がもらえないんだ。その資格がないと、トナカイさんのソリを運転できないんだよ。

そんな風に言っている。

そして誰も、空を飛ぶサンタさんを見たことがないんだ。姿を見られるとサンタさんは消えちゃうから、見られないようにしてる。

時々流れる星は見つかったらサンタさんかも知れないね。

そう話し終わった。

「じゃあ、サンタさんはうちに来ないの？」

江里紗的には、その辺をキチンと教えて欲しいらしい。

「本当はサンタさんはもう世界中の子どもたちにプレゼントをしてるよ。

おかあさんももらったし、お父さんも、お兄ちゃんもみんなもらった」

「なにになにい～？なにもらったの？」

「それはお金で買えないものなんだ。サンタさんはお金じゃ絶対に買えない

ものを本当はくれるんだよ。なんだと思う？」

お姉ちゃんたちは黙って考えている。

コタロウと鷹斗はマジレンジャーの歌を熱唱してる。

「サンタさんが来るかもしれないって、ワクワクするだろ？」

「うん！」 一斉に答えた。鷹斗たちも歌をやめて参加してる。

「それはサンタさんにしかできないことなんだ。そのワクワクって何だと

思う？」

「希望！」「夢！」「楽しい気持ち！」「ウルトラマン！」

いろんな意見が飛び出してきた。どれも正解なのである。

サンタさんはプレゼントをあげるのが仕事じゃないんだ。

お金で買えないものをくれる人なんて、そうはいない。

だから世界中でサンタさんは愛されているんだよ。

そんな話をした。

はずれちゃって、サンタさんが来ないとがっかりしちゃかわいそうだから、

みんなちのお父さんやお母さんは ToyZaras に行ってオモチャを買うの。

サンタさんはいるんだよって、そっと教えてあげたいからなんだ。
子どもを騙してるわけじゃないんだよ。

でもね、サンタさんは本当にいるんだよ。

おかあさんは今でもそう思ってる。

会ったこともプレゼントをもらったこともないけど、

きっとどこかにいるってそう思うだけで、サンタさんはお母さんにプレゼント

トをくれてるんだ。

「鉛筆が欲しいなんて手紙に書きちゃったよ・・・」

江里紗が悔しそうに言った。

書き直したいと言い出した。

「なんて書き直すの？」

「元気でいてくださいって」

あたしは泣きそうになってしまった。

こんな話ができるのも、サンタさんのおかげ。

ありがとう、サンタさん。

●第 36 弾：けっきょく私はどう答えたのか？

クリスマスシーズンになると世界中にあふれるサンタの画像や人形や仮装などなど。これらは全部、サンタにお金を払って許可を得ないと使わせてもらえないのです。

つまり、ディズニーがミッキーマウスで死ぬほど儲けているように、サンタは世界中のクリスマス関連業界から兆単位の莫大な著作権収入を得ているのです。

その莫大な収入で子供たちへのプレゼントを調達しているという説明をしたのですが、果たして納得したのかどうか。

一応理解はしたみたいですが。

●おわりに

じつはうちの息子は、去年のクリスマスの時にサンタクロースを見たのだそうです。

夜中に目を覚まして、窓から外を見るとサンタさんが遠くに見えたと言っていました。

うらやましい。

正直そう思いました。それと同時に、「サンタさんのプレゼントの出所」について疑問をもって、自分なりに答えを導き出した息子に対して、私は私なりに最大限の誠実さで応えなければいけない。

そう思って答えたのが、前ページの私の答えです。

妙なところにリアリティがあって、夢も何もあったものじゃない。

そう思う方も少なくないと思います。

しかし、うちの息子は「サンタさんは工場を持っているんだよ」と

いうと、「じゃあ材料費とか工場を動かすお金はどこから手に入るの？」という質問を返してくるような小学一年生なのです。

ファンタジーな回答では納得させられそうもないので、できるかぎり合理的な回答を考えて、かんで含めるように説明しました。

「今回、多くの方にご協力いただいたのに、その結果がまったく反映されてないではないか」

というご意見には「申し訳ありません。そのとおりです」と答えるしかありませんが、それでもあえて「ご協力ありがとうございました」と申し上げたいと思っています。

そして、お読みいただいたあなたへ。

「この e-book をお読みいただいてありがとうございます」

[地元密着なび](#)・シンタニタカシ